

第4回議会報告会・意見交換会アンケート回答

[議会報告会・意見交換会についての感想や評価]

放射線関係の訳の分からない質問への、荒木議長・相沢議運委員長の名答弁・名仕切りに感服しました。心から敬意を表します。

放射線から子供が心配ならば、心配がなくなるように桐生市から出て行けばよいと思います。日本からも出て行くべきです。国・県・市を頼りすぎです。

現代はすべて自己責任の時代であることを確認すべきです。

回答：市民の皆さんが放射性物質に対して不安を持つことは理解できます。私たちは市当局に対して把握した状況を正確に迅速に公表するよう求めています。

今回は1～3回の議会報告会の中で一番市民の参加者が少ないような感じがします。

もっと市民が大勢参加するように創意工夫すべきです。このままですと市民の参加が少なくなってしまう、報告会を廃止にするようなことになってしまいます。そうなりますとパフォーマンスで終わってしまいます。努力目標として毎回100人は参加するようにすべきです。

回答：1～3回の報告会では旧桐生市内、新里町、黒保根町と巡回しました。今回の第4回からは各地区内にお伺いしようということになり、まず、相生町で開催いたしました。参加人数についても、日時を工夫し周知方法等効果的に行っています。

議会報告会に出席している議員22人の中に一言も意見や考えを発言しない議員がおります。これは議員としての役割を果たしていないのではないのでしょうか。毎回必ず議員が意見や考えを発言すべきです。ただただ顔を出しているだけではダメだと思います。

回答：各委員会ごとの報告ではなるべく多くの議員に行っていただくよう努めておりますが、今後はさらに研究をしていきたいと思っております。

みどり市との合併はどのようになっているのでしょうか？合併を推進しているという言葉は耳にします。しかし、一向に話が進まないような気がします。このままですと一生みどり市との合併は実現しません。具体的に合併特別委員会を設置する、みどり市議会に働きかけをするなど積極的な姿勢を見せるべきです。放射能汚染対策の議論ばかりでこの合併問題は埋没してしまっているような感じがします。市民のことを考えるならば早急に着手すべき事案です。

第4回議会報告会・意見交換会アンケート回答

回答：桐生・みどり両市議会正副議長の話し合いは行ってきておりますが、今後もみどり市との合併の機運が高まるように様々な取り組みを議会として行ってまいりたいと思います。

アンケートに対する回答が抽象的なものが多いです。もっと具体的に回答すべきです。

回答：どうしても議会として答えられる限界がありますが、なるべくわかりやすく伝えていきたい と思います。

グループ等で調査・研究している人たちもいるようなので、それらについては、「調査・研究」の成果をあらかじめ出して下さるよう伝えておいてください。放射能については出された意見にかかわるものは別途追加して出します。

アンケート書く時間なし。

回答：調査・研究の成果については一定の方向性が出た段階で提出します。なお、アンケートを記入する時間帯も今後は検討いたします。

意見交換会の開催日をもう少し増やしてほしい。

第4回目だと旧桐生市だと年1回なので少ないと思う。

回答：議会では意見交換会がまちづくり懇談会、政策懇談会へと発展していきけるよう検討している所です。今後は回数についても検討していきたい と思います。

交通問題に対する意見を出させていただきましたが、やはり交通と街の関係についての知識・情報が、市議さんの間でもあまり知っている方がおられない と思いました。もう少し、交通に関する内容についても関心を持っていただければ と思います。2時間くらい意見交換の時間をとって下さい。

回答：議会では交通対策調査特別委員会を設置しておりますので、委員長に伝えていきたい と思います。また、時間についても「交通」に対するテーマを設定した時に考慮したい と思います。

パブコメ（短く言い換えるのは年寄りには嫌いでございます（怒））（しばらく考えてパブリックコメントってこと？と思いおよびました）パークアンドライドなどカタカナで表現するものについては老若男女様々な市民が出席していることを考えると、わかりやすく言い換えることをしていただけるとありがたい と思いました。上っ面なことについての意見でごめんなさい。

回答：なるべく市民の皆様がわかりやすい言葉に置き換えて今後は行っていき

第4回議会報告会・意見交換会アンケート回答

たいと思います。

1. 21名議員さんによる真面目な姿勢での議会報告会の実施・運営に対し敬意を表します。
2. 前回（黒保根での報告会）のまとめ及び2月3月議会の報告いずれも的確にまとめられていて概ねよく理解できました。今後の議会報告会もこのスタイルをさらに磨き上げて、市民への説明責任を果たしてくださることを望みます。
3. 意見交換会では「放射能汚染」に対する危惧が多く語られていました。黒保根意見交換会での回答として「市議会全体で対応・・・」とありました。
乳児を抱えた若いママの悲痛な叫び声は議員の皆さんに届きましたか。
梅田茶の汚染と梅田小の児童の野外活動に関する、小学校の先生方の対応に関する危惧
以上総合して放射能汚染対策に関する「特別委員会」の設置を強く求めます。

回答：市民の皆様への説明責任を果たすことはもとより、市民の皆様と議会が話し合える機会を今後も考えていきます。

放射能対策については、所管の常任委員会（教育民生委員会）に付託しており、そこで協議を行っておりますので特別委員会の設置は現在考えておりません。

桐生の家庭ごみに含まれているセシウム数値の高さは皆さんご存知かと思えます。すでに発生している焼却灰の処理・管理はあまりにもズサンです。今後どうなっていくのか大変心配です。がれきの試験焼却も近づいていますが、これも安易な受け入れであるとガッカリしています。

安心ではなく安全を確保してください。子供は皆の宝です。生命を重んじる市政が行われますよう要望します。

回答：放射線数値をどう捉えるかについては、個々様々な見解があるのは認識しております。桐生市議会では大方の意見として、市の発表した数値については、通常の市民生活におおむね影響のないものと判断しております。1～3回の報告会では旧桐生市内、新里町、黒保根町と巡回しました。今回の第4回からがれきの受け入れは、市としても十分な調査及び監視委員会での協議結果を踏まえ判断しており、決して安易な受け入れとは考えておりません。

今後は、市民の更なる不安解消のため、徹底した情報公開を市当局に求めています。